令和５年度青森県立郷土館サテライト展

生誕130年 今 純三

KON JUNZO

純三が描いた戦前の青森

130th Anniversary of Birth: KON Junzo
－Aomori Before the War Painted Through the Eyes of Junzo

風景　1936年

会　　期　2023（令和5）年 9月30日（土）～ 2024（令和6）年 1月28日（日）

※休館日
10月10日（火）、23日（月）、11月13日（月）、27日（月）、
12月11日（月）、25日（月）～2024年1月1日（月・元日）、9日（火）、22日（月）

会　　場　青森県立美術館　コレクション展2023-3

青森市大字安田字近野 185　TEL 017-783-3000

開館時間　9:30～17:00（入館は16:30まで）

※10月21日（土）、11月18日（土）、12月9日（土）、2024年1月20日（土）は
ナイトミュージアムにつき20:00まで開館（入館は19:30まで）

観覧料　青森県立美術館コレクション展料金
一般510円（410円）、高校生・大学生300円（240円）、小学生・中学生100円（80円）
※（　）内は20名以上の団体料金　※企画展は別料金

主催 青森県立郷土館　共催 青森県立美術館

問い合わせ先　青森県立郷土館　〒030-0802 青森市本町 2-8-14
TEL 017-777-1585　FAX 017-777-1588　郷土館ホームページ ・ https://www.kyodokan.com

KON JUNZO

生誕130年 今純三

純三が描いた戦前の青森

130th Anniversary of Birth: KON Junzo
－Aomori Before the War Painted Through the Eyes of Junzo

弘前市出身の今純三（1893 ～ 1944）は、日本近代銅版画家を代表する一人で、青森県の洋画や版画、美術教育の礎を築き、本県美術史に大きな足跡を残しました。

青森県立郷土館では、平成４年の特別展「日本近代銅版画と今純三」をはじめ、これまでその業績を度々紹介してきました。

生誕 130 年を迎えた本年、青森県立美術館のご協力により、当館コレクションを中心に記念展を開催します。彼の画業を振り返り、昭和初期の青森の風景や人々のくらしを誠実に、そしてユニークな視点でとらえた『青森県画譜』やふるさとを見つめる優しいまなざしに満ちた『創作版画小品集』シリーズ、研ぎ澄まされた版画技法で表現された作品の数々を紹介します。

3

2

1

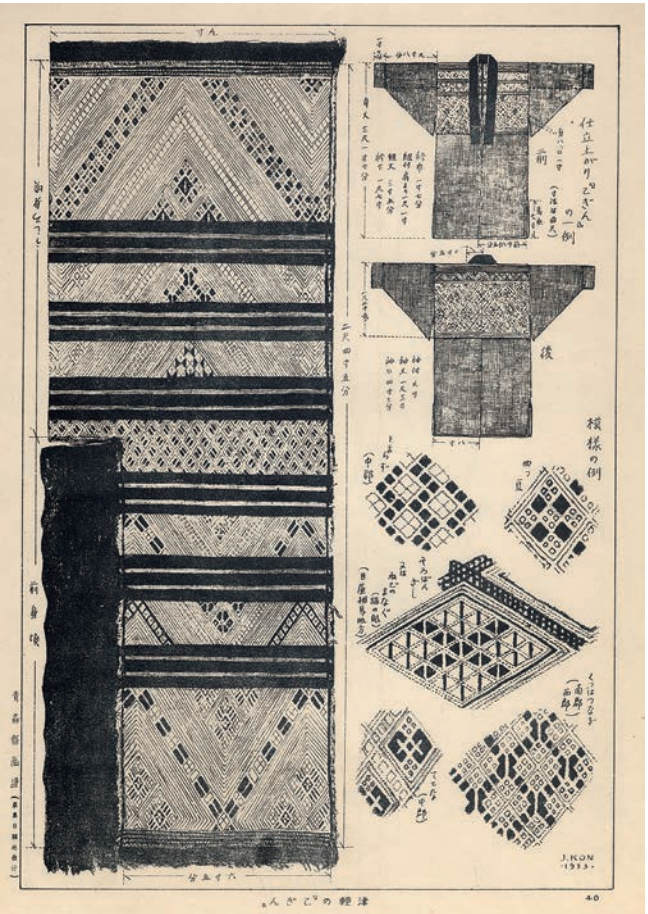
■展示内容

純三の生涯とその仕事
　〈油彩画〉バラライカ（弘前市立博物館蔵）、
　風景（青森県立美術館蔵）、大坂金助氏肖像　他
　〈版画〉青森県画譜、創作版画小品集、奥入瀬渓流連作、
　雪景、凧をもつ子ども　他
純三が描いた戦前の青森
　青森県画譜に描かれた昭和初期の子どもねぶた・ねぷた（復元）、
　えんぶり烏帽子、こぎん　他

■今純三（1893 ～ 1944）

兄は考現学を創始した今和次郎（1888 ～ 1944）

1893（明治 26）年　青森県弘前市に生まれる
1906（明治 39）年　一家で東京に移住
1913（大正 ２）年　文展入選
1919（大正 ８）年　帝展入選（「バラライカ」）
1923（大正 12）年　青森市に住む
1933（昭和 ８）年　『青森県画譜』制作
1935（昭和 10）年　『創作版画小品集』に着手
1944（昭和 19）年　東京で病のため永眠

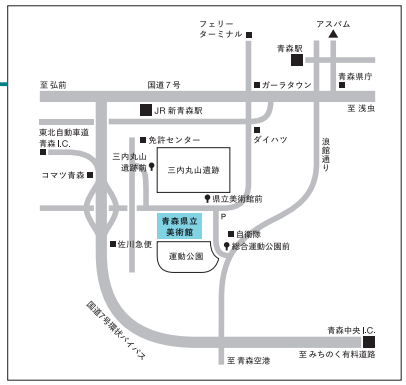

4

5

1　自画像　1932 年
2　郷土玩具図〈部分〉『青森県画譜』第７集
3　こけし（えんつこ）
4　郷土工芸図・津軽のこぎん　『青森県画譜』第５集
5　青森市新町通夜景　『青森県画譜』第６集

■会場
青森県立美術館
〒038-0021　青森市大字安田字近野185
TEL 017-783-3000　FAX 017-783-5244

■問い合わせ先
青森県立郷土館
〒030-0802 青森市本町 2-8-14
TEL 017-777-1585　FAX 017-777-1588

■会場（青森県立美術館）までのアクセス

●JR新青森駅から車で約10分●青森駅から車で約20分
●青森空港から車で約20分
●東北縦貫自動車道青森I.C.から車で約5分
[八戸方面から]青森自動車道青森中央I.C.から車で約10分
●青森市営バス青森駅前（6番のりば）「三内丸山遺跡行き」乗車、「県立美術館前」下車（所要時間約20分）
●ルートバスねぶたん号JR新青森駅東口（3番のりば）乗車、「県立美術館前」下車（所要時間約10分）